

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.8

令和5年6月16日発行

文責 校長 市丸 明彦



# モア スマイル



## 頑張った田植え

先週の9日（金）に5年生が田植えをしました。

子ども達は養母田の峰さんから教えてもらったことをすぐに理解し、要領よく植えていました。

初めは田んぼに入るのを嫌がっていた子ども達も、入ってしまえば「キャーキャー」と言いながら楽しんでいました。感想や様子から、「田んぼに生息する生き物を観察する子」、「田んぼの匂いや泥の感触を感じた子」、「手で植えることによって、昔の人の苦労を感じた子」など、田植えだけにとどまらず、他のことにも興味や関心をもって活動できたこともよかったですと思います。

また、収穫したお米を中学校へ贈呈しているため、中学校の猿本校長先生も一緒に参加していただきました。

今後は、田んぼの観察等を経て、10月に稲刈りの予定です。大きな稲穂に育ってほしいものです。



## ボッチャを体験しました

来年は「国スポ・全障スポSAGA2024」が開催されます。その広報活動の1つとして、大会に関する出前講座を県内の学校で開かれています。本校では、先週9日（金）に4年生が「ボッチャ」を体験しました。

「ボッチャ」とは、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングのように、相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、的も弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略、魅力がある競技です。

私も参加しましたが、作戦を考えたり、投げ方を変えたりして楽しくゲームができました。

この大会は昭和51年の若楠国体以来、48年ぶりに佐賀で開催されます。大会を観戦したり、ボランティアとして携わったりと、私たちにできることで盛り上げていければと思います。

